

全青協とは

全国青少年教化協議会(略称・全青協)は、仏教教団の余宗派と支援企業が協力し、青少年の豊かな生活と来を願い1962年に結成(翌1963年設立認可)された財団法人です。

子どものころから仏教に親しみ、世の中の移り変わり押し流されることのないその教えによって、たくましく育つことをもった人間に育ててほしいと、子ども会・日学校の推進をはじめとする諸事業を展開しています。

虐待、いじめ、不登校、ひきこもりなど、ますます多化する青少年に関する課題に対し、仏教者や大人が果たす役割を常に考え、青少年はもとより、彼らとともに活動者を支援していきます。

付属する「臨床仏教研究所」と連動し、青少年支援や寺院活性化の方法を研究、提言していきます。また、「こらネットEN」など、超宗派の活動寺院ネットワークを進めています。



世代を超えて伝えたいことがあります

- 底ぬけに人を信ずる人間となろう
- よろこんで与える人間となろう
- いのちを大切に作る人間となろう
- 考えぶかい人間となろう
- しめいに生きる人間となろう
- 規律あるしあわせをよろこぶ人間となろう



「わたしたちのねがい」(1964年 全青協制定)

受け取る・発信する

● 月刊誌「ぴっばら」の発行

仏教をやさしく正しく理解すること、青少年の意識について理解を深めることをめざして編集・発行しています。施本としても多くの寺院や幼稚園などでご活用いただいています。

● 各種活動資料の発行

さまざまな青少年問題を俯瞰し、支援活動に必要な情報を収集、「教化リーダーブックレット」をはじめとする、支援・教化活動に関心がある方々への参考資料や書籍を発行しています。

● インターネットによる情報発信

ホームページにて、寺院の活動や各種研修会の情報を紹介しています。また、ひきこもり当事者の自助グループに関する活動報告なども行っています。

広める・伝える

● 現代名僧墨蹟展の開催

青少年支援活動に賛同された現代仏教界を代表する各宗派の管長や高僧、各界著名人の書や画を展示・頒布します。墨蹟との出会いを通して、みほとけのおしえが広がることを願っています。

● 教材・単行本の発行

仏教・教育関連の書籍、ならびに子ども会や花まつりなどの行事にお使いいただける教材を発行しています。会員割引もごさいます。

● 臨床仏教研究所の運営

現代社会において僧侶や宗教者が果たすべき役割や、寺院の公益性について調査・研究を行い、広く仏教界に提言していきます。

学ぶ・行動する

● 寺子屋サマースクールの開催

さまざまな体験プログラムを通して、子どもたちにほとけのおしえを伝えるとともに、活動者の実践研修の場となる子ども会を開催しています。

● 各種研修会の開催

指導者研修会や国内外のスタディツアー、ワークショップなど、青少年の現状に対する認識を深め「仏教者や大人に今何ができるのか」を考える研修会を行っています。

● ぴっばら国際児童基金の運営

(社)全日本仏教婦人連盟と協働して、インドをはじめとするアジアの子どもたちを、里親制度などによって「教育」「健康」「自立」の3点から支援しています。

応援する・つなげる

● 活動寺院への助成

地域社会と協働しながら、公益性の高い活動を展開する寺院などへの助成および協力を行っています。

● 正力松太郎賞の実施

仏教精神にもとづき、青少年支援活動、情操教育の振興に努力している個人・団体をたたえ、一層の活動の推進を願って顕彰を続けています。

● 国内外災害緊急支援活動

国内外の自然災害に際して募金活動を行い、諸団体と協働して被災者を支援しています。

● 「てらネットEN」「てらフォン」ネットワーク

青少年にこころの居場所を提供するため、全国の寺院や団体のネットワーク作りを進めています。相談窓口やシェルターの運営を行っています。